

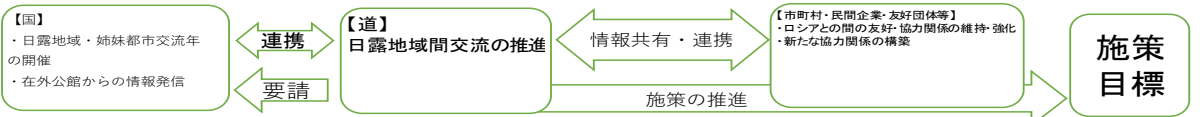


令和3年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	国際課	
施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓（ロシアほか）			施策コード	02051	
政策体系（中項目）	海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展			政策体系コード	2（5）B	
知事公約	C0115 C0116	総合戦略	A3462	国土強靱化	-	事務事業数 5
SDGs	 			総合判定	遅れている	

【1 Plan】

施策目標	これまでのロシアとの交流の経験の蓄積を踏まえ、ロシアに対する本道の特徴（優位性）を活かし、寒冷地技術、食と観光、健康医療、廃棄物処理、文化・芸術・スポーツなどの分野でのロシアとの地域間交流の推進に取り組む。					
現状と課題	内需減少の厳しい経済環境下にある中、ロシアをはじめとする海外市場の成長を取り込むことにより、本道経済のグローバル化を推進する必要がある。					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・日露経済交流拡大の機運を捉えたロシア極東地域、欧露部等との交流を展開 ・ロシア極東3地域（サハリン州、ハバロフスク地方、沿海地方）の地方政府との会議の実施 ・道サハリン事務所や北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所派遣職員などの現地ネットワークを活用した経済交流の推進 					
予算額（千円）	R 3	114,107	R 2	116,318	R 1	122,165
施策のイメージ	 <p>【国】 ・日露地域・姉妹都市交流年の開催 ・在外公館からの情報発信</p> <p>【道】 日露地域間交流の推進</p> <p>【市町村・民間企業・友好団体等】 ・ロシアとの間の友好・協力関係の維持・強化 ・新たな協力関係の構築</p> <p>連携 → 情報共有・連携 → 要請 → 施策の推進 → 施策目標</p>					

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	億円	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
輸出額（暦年）		目標値	5,500	5,750	6,000	7,250	38.3%	D
		実績値	3,970	3,121	2,297	-		
設定理由	総合計画における施策の方向性「海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展」の観点から各目標を達成するための指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
<p>指標は、経済部国際経済課と共有しており、当施策は対ロシア貿易振興の観点から関与。</p> <p>R2の対ロシア輸出額は、対前年比10.9%増となる約76億7200万円だった。</p> <p>今後も、道の海外拠点を活用した企業支援や、フェア・商談会の開催により輸出支援を実施していく。</p>								

指標名②	増加	人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
ロシアからの来道者実人数		目標値	-	-	22,320	40,000	35.8%	D
		実績値	-	-	8,000	-		
設定理由	観光を含めた人の往来が様々な分野での交流の基盤となることから、経済部観光局統計「ロシアからの来道者実人数」を目標として設定する。							
分析（主な取組と成果）								
新型コロナウイルス感染症の影響により、来道者が激減している状況にあり、指標のあり方の検討の必要があるが、現状では分析不能。								

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓（ロシアほか）	施策コード	02051
----------------------	------------	-----------------------------	--------------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	輸出額（暦年）	3,970	3,121	2,297	6,000	D
	ロシアからの来道者実人数	—	—	8,000	22,320	D
目標（指標）の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出額は、経済部国際経済課と共有し、ロシア貿易振興の観点から関与。R2の対ロシア輸出額は、対前年比10.9%増となる約76億7200万円だった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、来道者が激減している状況にあり、来道者実人数は分析不能。 				指標総合判定	D
連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済課やJETROとの間で、国や企業の動向及び海外展開支援ツールやノウハウを共有。 ・道内の経済団体、学術団体、国、市町村など49団体で構成されるロシア交流の推進組織を令和2年9月に立ち上げ、情報共有や連絡調整を図った。 				連携判定	○
緊急性優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・地方主体で取り組むロシアの社会的課題解決に貢献する事業及び健康関連分野における交流促進のための地方自治体、公的試験研究機関、大学、健康関連企業等が連携した技術交流の取り組みに対する支援の実施を国に要望し、医療分野など経済分野におけるロシアへの進出支援について反映された。 				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・公式SNSでの効果的な情報発信やWEBを活用した取組を進めているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が延期・中止になるなど十分な取り組みができない状況である。 				総合判定（一次評価）	遅れている

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	・輸出の拡大やコロナ収束後の往来の拡大を目指し、極東地域及び欧露部との経済交流促進や、道の海外拠点を活用した企業支援、フェアや商談会の開催などに取り組む。
	②	・コロナ後の往来再開を見据え公式SNSを通じて、ロシアに対する道内観光情報等の効果的な発信を行うとともに、コロナの影響下に於いても可能な交流施策について、ロシア極東地域や欧露部と継続的に協議を進め、実施していく。
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況 (R3.3時点)
R3年度二次政策評価	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓のため、ロシアに対する本道の優位性を活かし、寒冷地技術、食と観光、健康医療、廃棄物処理、文化・芸術・スポーツなどの分野でのロシアとの地域間交流は重要であり、取組の一層の推進を検討すること。

【3 Action】

二次政策評価への対応	○コロナ禍やウクライナ情勢など、現下の国際情勢も考慮しながら、適時適切な方法により、ロシアとの交流を図っていく。
R4施策の方向性	○コロナ禍やウクライナ情勢など、現下の国際情勢も考慮しながら、SNSによる情報発信強化、コロナ禍でも可能な北海道フェアの開催、ウェブ上での北海道プロモーションなどの各種取組を適時適切に進める。